

第2回 湖西市バス運行評価改善委員会 会議録

日 時：平成27年11月12日（木）13時30分～15時45分

場 所：市民活動センター2階大会議室

出席者：

会 長	伊豆原 浩二	愛知工業大学 客員教授
副会長	鈴木 愛子	湖西市自治会連合会 理事
委 員	土屋 勇夫	湖西市老人クラブ連合会 梅田地区副会長
委 員	柴田 和利	湖西市商工会 事務局長
委 員	内山 安弘	新居町商工会 事務局長
委 員	袴田 里佳	湖西市小中学校PTA連絡会 会長
委 員	吉原 博明	湖西市社会福祉協議会事務局次長代理
委 員	河邊 登	公募市民
オブザーバー	杉山 晃久	静岡県地域交通課 主任
事務局	新村 俊明	遠州鉄道(株)運輸業務部 課長
事務局	杉山 浩一	遠州タクシー(株) 営業部長
事務局	辻村 嗣直	浜松バス(株)支配人
事務局	福井 裕明	(株)ケー・シー・エス 東京支社
事務局	小林 利幸	湖西市 企画部 市民協働課長
事務局	山本 勝久	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係長
事務局	村松 慶太	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係副主任

1 開 会

2 会長挨拶

3 (1)報告事項 前回のおさらいと追加データについて

<事務局>

説明

<座長>

起終点ペアの年度毎比較について、減少傾向だが、小学生の通学の足として機能しているのか。また、減少原因について把握しているか。逆に言えば通学以外の利用は増えていると解釈してよいが、単純な増減の話ではない。

<事務局>

基本的に通学便のルート・ダイヤは変更していないので、自然減か利用のニーズが変わったのかは解明しなければならない。

知波田地区の便は朝は利用しているが、帰りは児童個々の都合により利用が少ないと聞いている。

<委員 袴田>

アンケートで各小学校で聞くこともできるが、現在はこの小学校が使っているのか。

<事務局>

知波田・新居・白須賀の小学校です。

<委員 鈴木>

新居地区は帰りは歩いている。

<事務局>

自然減(児童数が減ったのか)かどうか、調査します。

<座長>

遅れについて。運行開始4日間の遅れに関してはもう一度情報提供がなければいけない。

<委員 藤井>

説明では主に工事が原因であるが、通常はどの便がどれくらい遅れているのか。

<事務局 遠鉄タクシー>

朝はいいが、それ以外は大分遅れている15分の周回で5分でも遅れるのは問題なので、見直しを要望している。

<事務局>

公共交通会議でダイヤの見直しについて諮っていきます。

(2) 評価・改善について

1 コーちゃんバス全般について

評価できる点

<事務局>

説明

<座長>

表現について顧客→利用者 深い→詳細なという形がいいのではないかと。

<委員 柴田>

表現については概ね良い。より市民意向を把握できる具体的な調査の内容について事務局に提案して欲しい。

改善が必要な点

<事務局>

説明

<座長>

運動会等に併せたダイヤを検討するとなると難しい。臨時便ということか？

<委員 袴田>

便数が増えれば良いと思っている。

<座長>

この点に関しては通常のダイヤというよりは臨時便で対応する意図だと思われるので、そのように修正をお願いします。

2 路線別評価

白須賀新居鷺津線

評価できる点

<事務局>

説明

<委員 藤井>

新居町駅はともかく、鷺津駅は駅に来る人間が駅利用だけに目的に来るのではないので、「駅端末交通として機能していると推測される」という表現になる。

<座長>

難しい表現から、市民にわかりやすい表現をしてもらいたい。「機能」→利用されている。

改善が必要な点

<事務局>

説明

意見なし

白須賀鷺津線

改善が必要な点

<事務局>

説明

<座長>

利用者減少の原因に企業から従業員へ支給される通勤費の問題があるなら、企業に働きかけていかなければならない。減少理由に対する改善提案が必要。

「通勤・通学以外の利用促進」ということになると、通勤・通学は諦めているかのように見えるのでその点について検討して貰いたい。

<事務局>

「通勤・通学」を除いて、全体的な「利用促進」とします。表現については報告書への記載時に訂正を検討します。

白須賀岡崎線

訂正なし

岡崎循環線

改善が必要な点

<事務局>

説明

<座長>

表現について。文末について「必要がある」「必要」など、表現がばらばらなので、統一すること。

岡崎鷺津線

評価できる点

訂正なし

改善が必要な点

<事務局>

説明

<座長>

日ノ岡乗り継ぎについて、道路を変えるのは難しい。経路の変更で対応するのか？

<事務局>

経路の変更を検討しています。

<事務局 浜松バス>

旧道経路案では狭くて通りにくいのではないか。

<座長>

表現について「利用者が横断歩道を2度渡らなければならない」とであると、全ての信号交差点が危険ということになってしまうので、訂正をお願いします。

知波田鷺津線

評価できる点・改善が必要な点

<事務局>

説明

<座長>

第一便について、通学以外の利用について検証をお願いします。利用していないなら経路の見直し等で増便が図れる可能性もある。

浜名線

評価できる点・改善が必要な点

<事務局>

説明

<座長>

コーちゃんバスの方がサービスは高いのか？

<事務局>

料金の面が大きい。

<委員 河邊>

コーちゃんバスと路線バスが平行して走っていると、どうしても路線バスの料金を参考にしなければならないと聞いていたので、自主運行バスを「廃止」してコーちゃんバスとしての運行をとるという意図して意見をした。

<座長>

そうすると、表現が変わってくる。「さらなる利用者増」となると現状のままで利用者を増やすという意図になるので、この項に関しては表現を事務局で検討して下さい。

3 運営・運行主体に対する評価

評価できる点

<事務局>

説明

<委員 吉原>

利用促進策として割引はいいと思うが、それが当たり前で、割引がないと乗らないということにならないように気をつけてもらいたい

改善が必要な点

<事務局>

説明

意見なし

4 その他

<事務局>

説明

<座長>

湖西は5つのゾーンで料金体系をとっていてわかりにくい。

そもそも入出地域を運行していた遠鉄浜名線に合わせる形で料金設定をしていたが、現在は自主運行バスとなっているので、コーちゃんバスとの料金体系の差があることについて、そろそろ見直しが必要な状態になっている。

その改善のための評価改善委員会の意見として、この項目にのせ、提案していくという意図である。

(3) コーちゃんバスの改善提案について

<事務局>

説明

<委員 河邊>

運賃について、自主運行バスがなければ重複路線もなくなり、湖西市のバスとしてふさわしい料金体系に変更できるのではないか。

<座長>

自主運行バスを入出から湖西病院までにすれば、重複路線がなくなり、料金体系の見直しにもつながるという意図で28年度以内に検討実施するという改善案である。

<座長>

利用促進策については、バスを案内する案内人を設置している自治体もある。

<委員 河邊>

現在、コーちゃんバスに乗ってみるツアーを事務局と考えている。乗り継ぎについても老人会の役員に聞くと、待ち時間が2時間というときもある。今回はその乗り継ぎをいかに有効に使うかということもテーマに考えた実験である。

<座長>

「行き方を調べて乗る」ということもバスを楽しむ=利用促進の一つである。バスを利用する付加価値を付けることが非常に重要である。方策としては、様々なものがあるので、参考として欲しい。

改善策全体の内容については、実施時期(平成 28 年度実施の有無等)などを事務局は事業者等と調整の上で次回の委員会までにもう一度まとめて下さい。

<事務局>

今月 20 日を目安に、第 1 回、第 2 回委員会のデータ、意見、改善案をまとめた報告書を作成します。

委員の皆様には事前送付し、意見を頂いた後に修正して最終報告とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

<座長>

それでは委員会を閉会します。